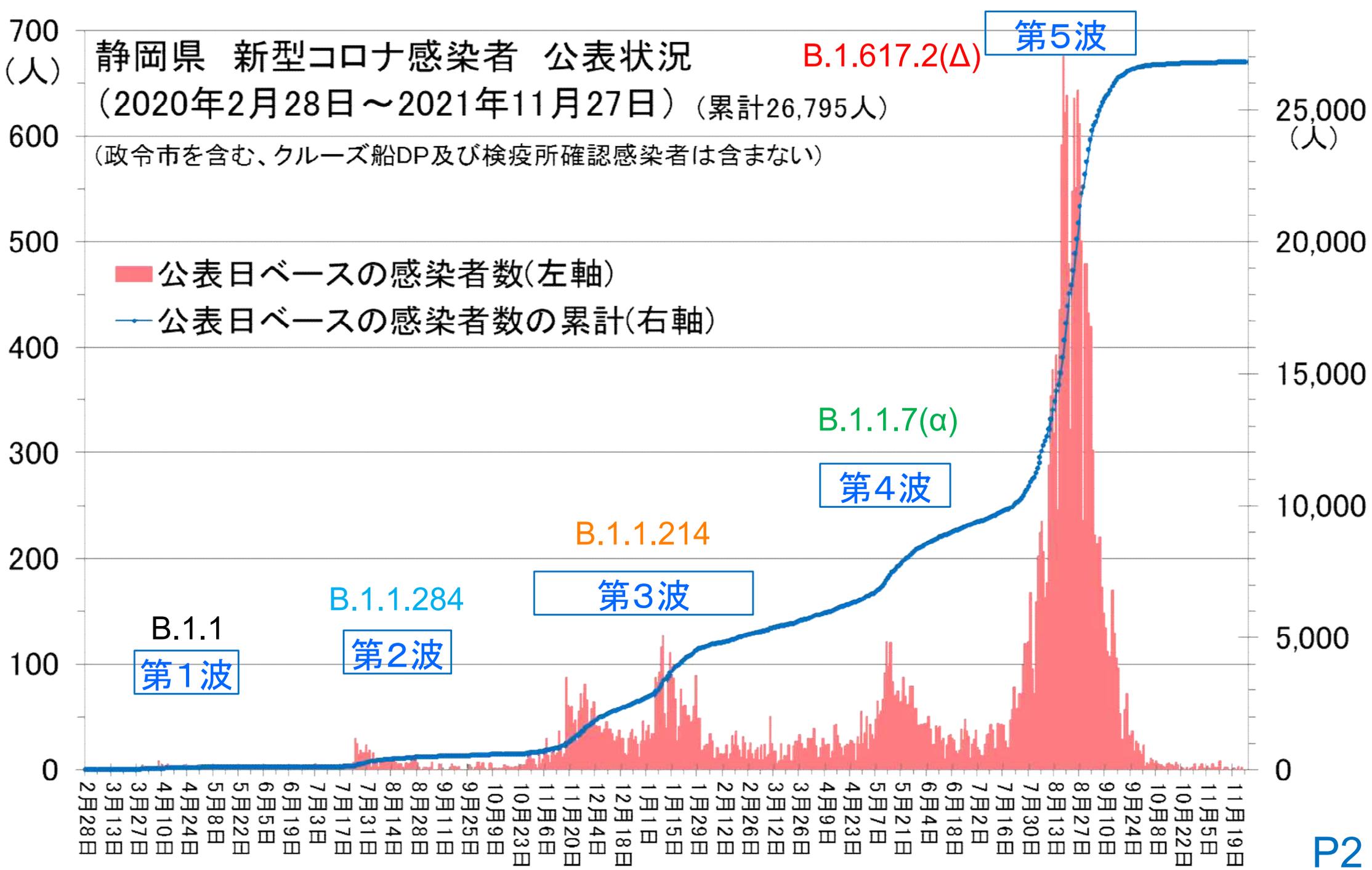
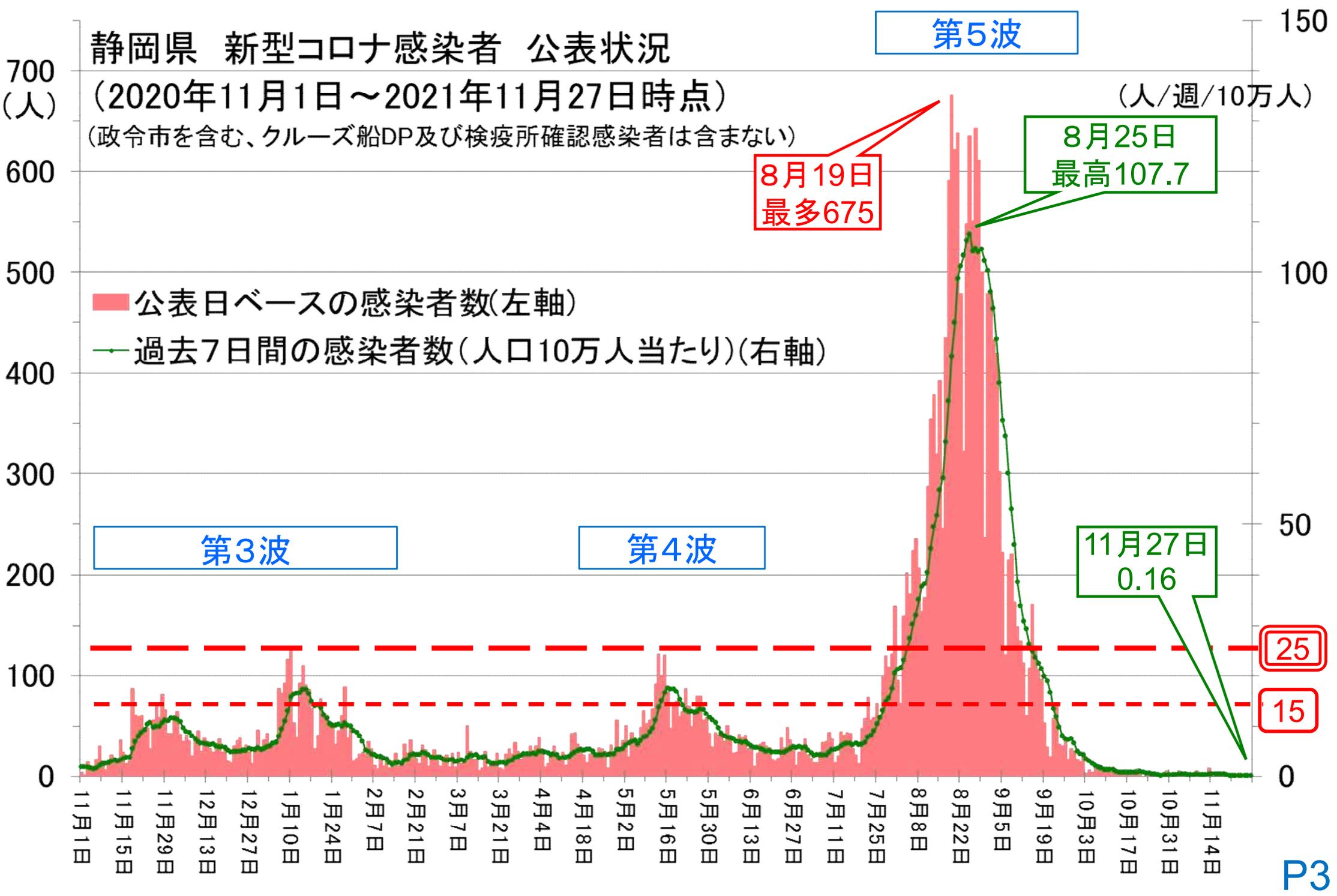


静岡県の  
新型コロナウイルス感染症者  
発生・入院等の状況、レベル等  
(ほぼ2021年11月27日時点)

静岡県健康福祉部 新型コロナ対策企画課



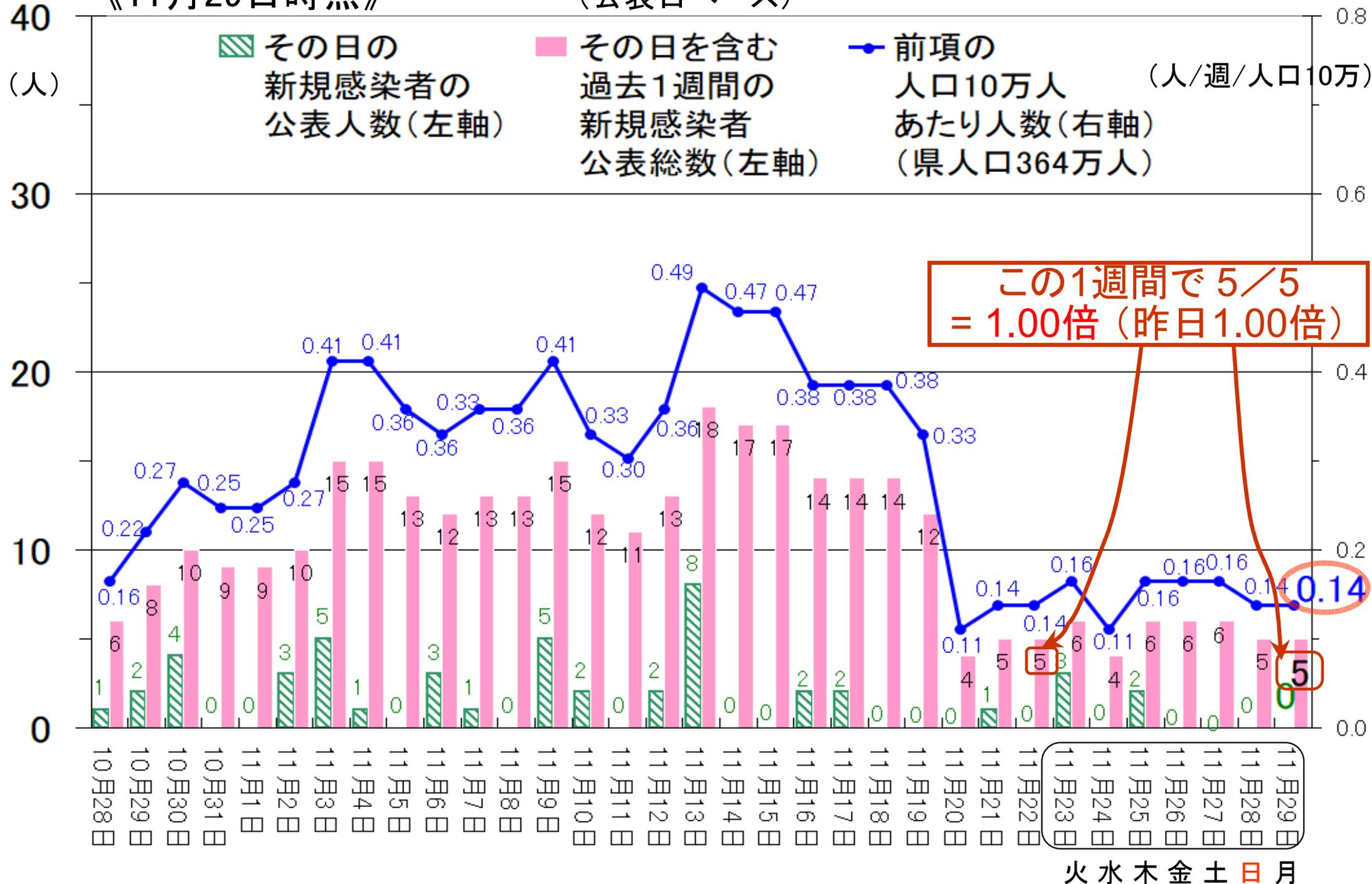
月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
その月の公表者数	9人	61人	4人	6人	192人	207人	61人	115人	1012人	1013人	1909人	551人	574人	748人	1932人	924人	1574人	11659人	4056人	147人	40人



# 静岡県直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況

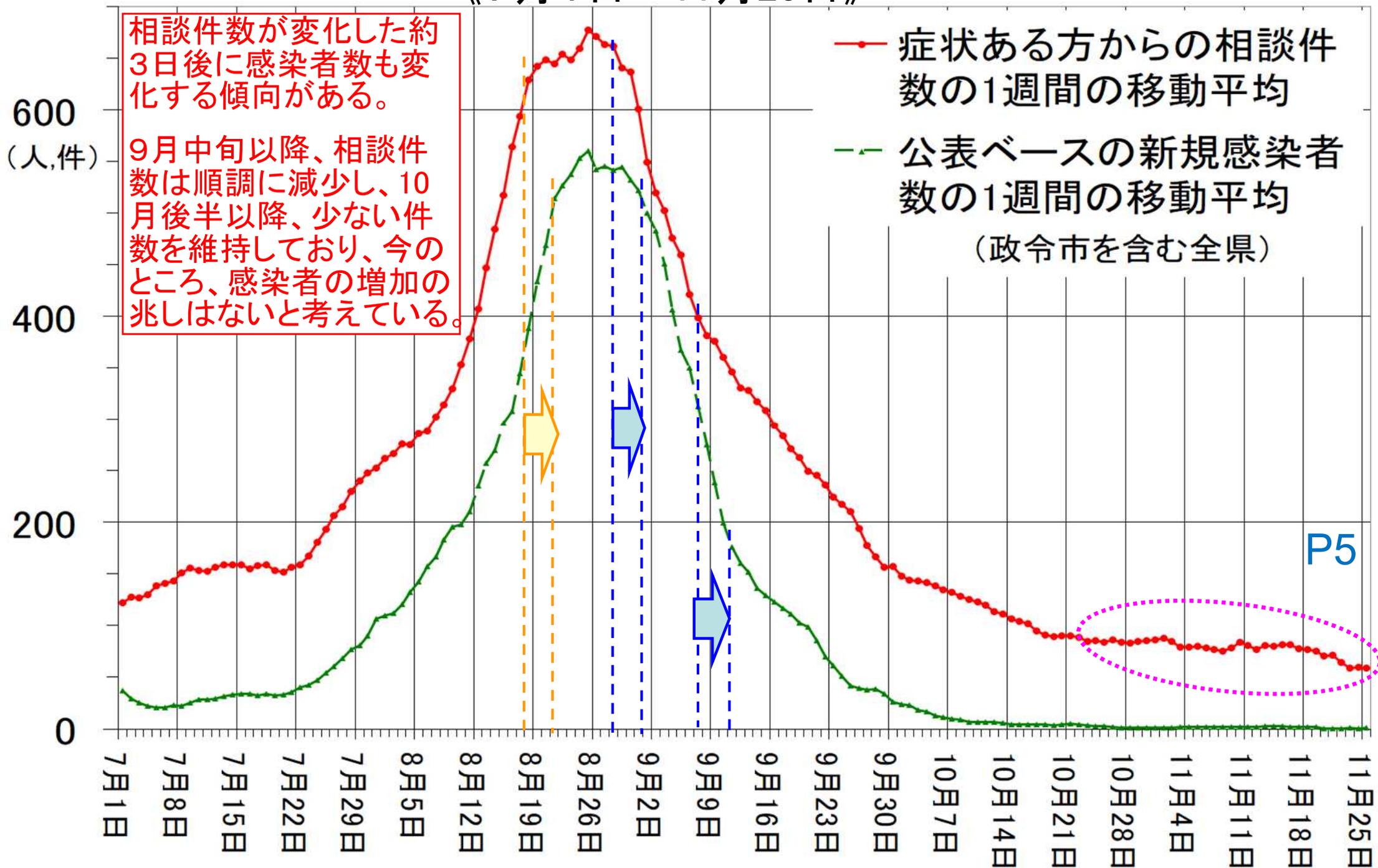
《11月29日時点》

(公表日ベース)



# 発熱等相談センター相談件数と新型コロナ新規感染者数

《7月1日～11月25日》

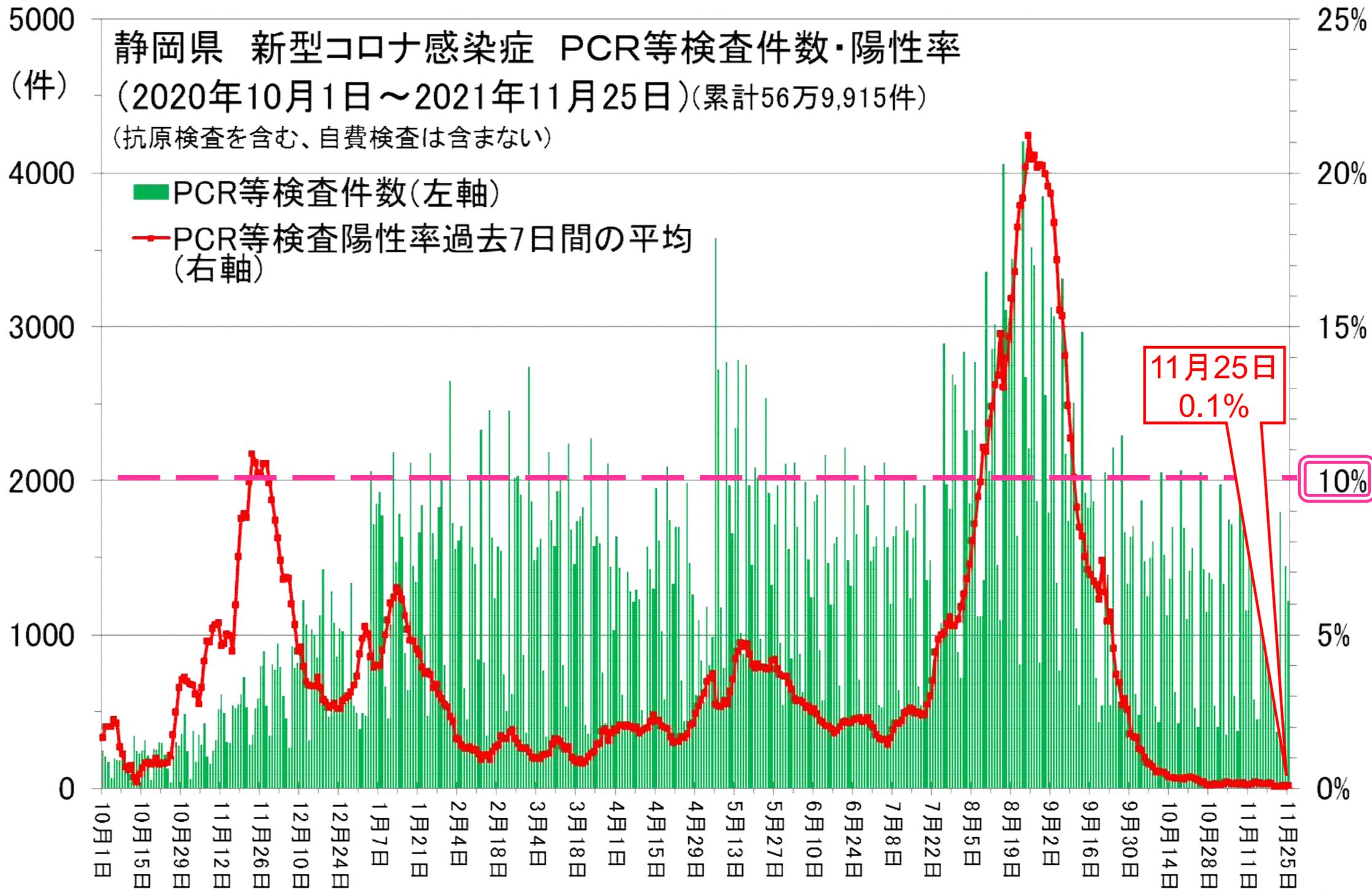


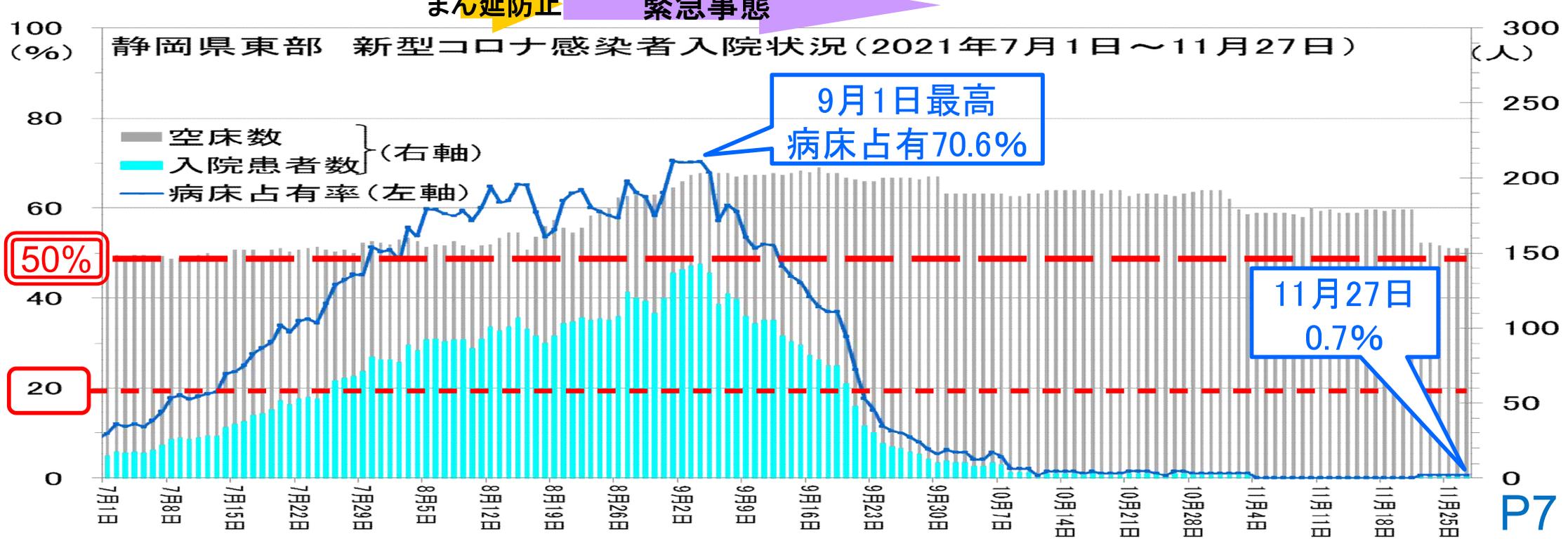
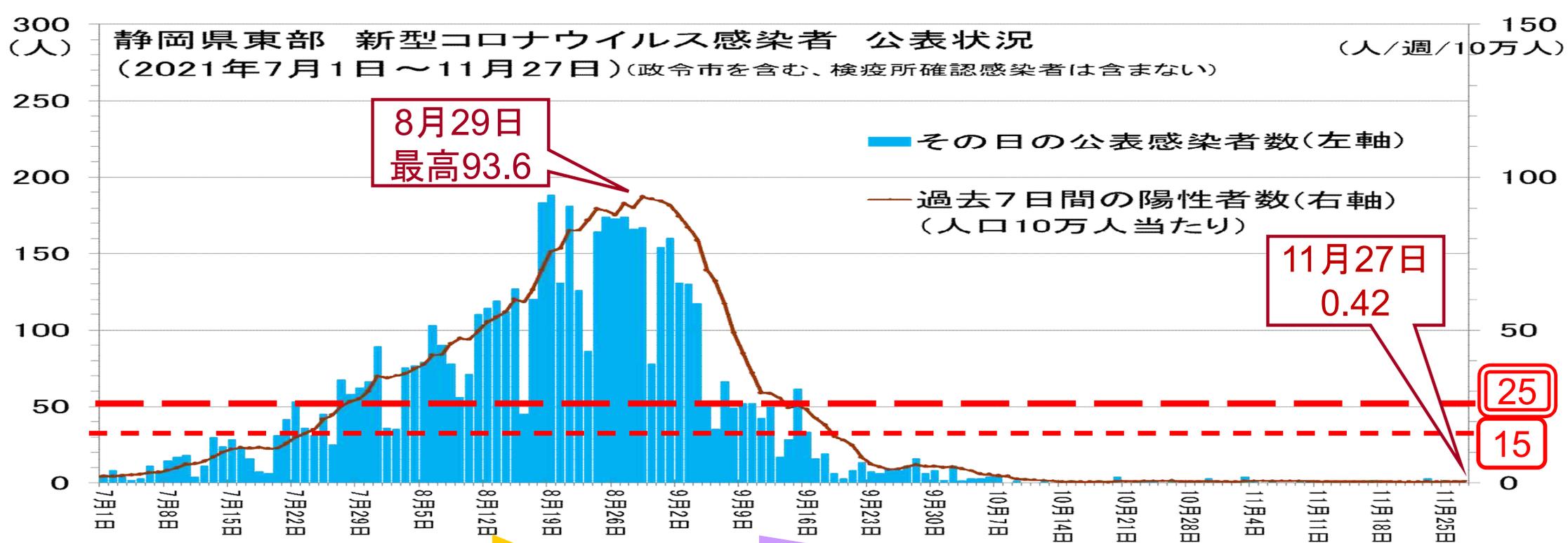
# 静岡県 新型コロナウイルス PCR等検査件数・陽性率

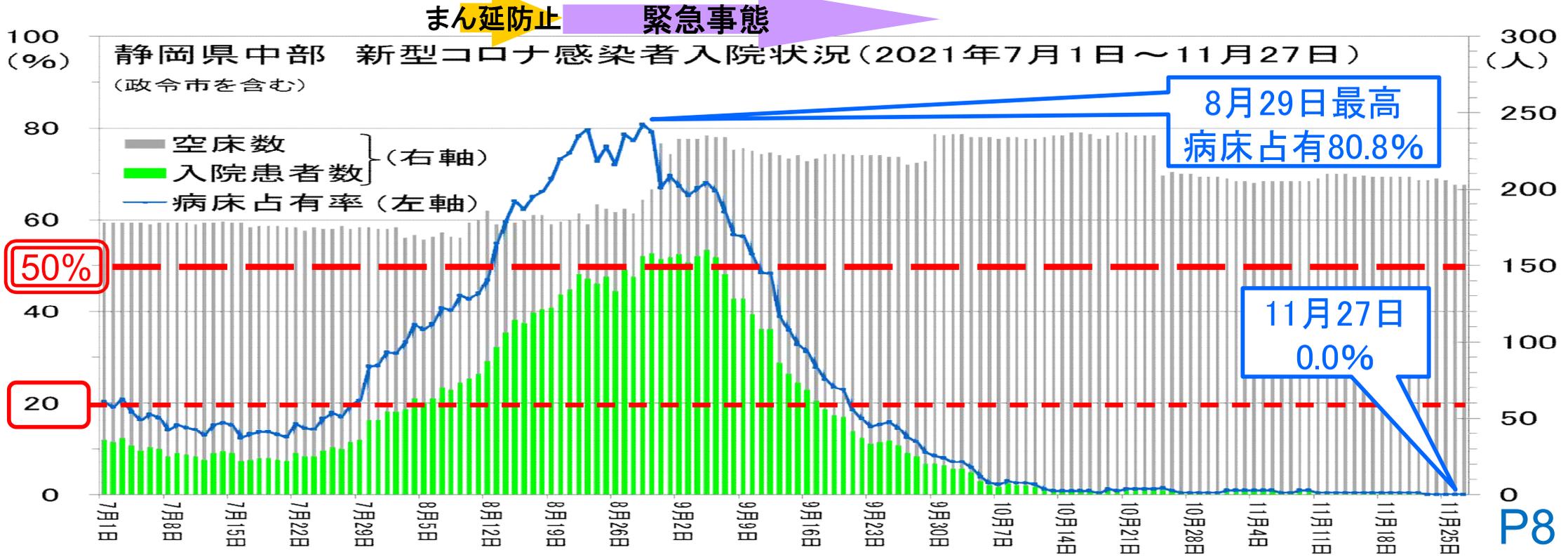
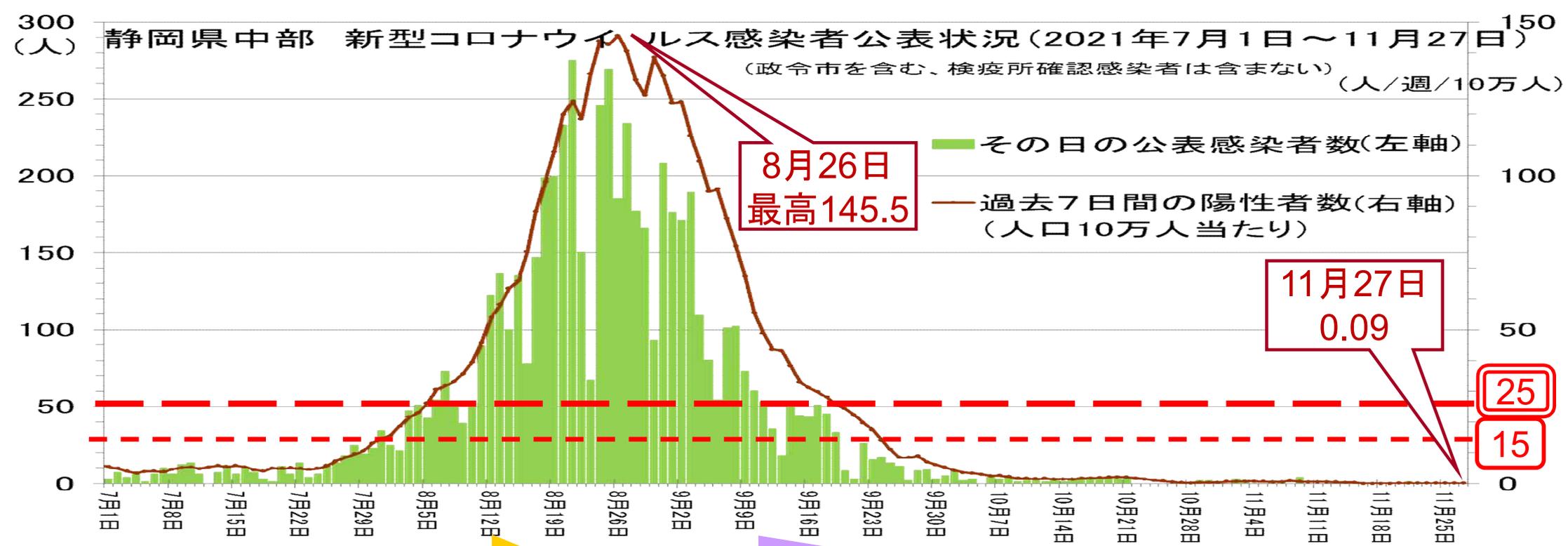
(2020年10月1日～2021年11月25日)(累計56万9,915件)

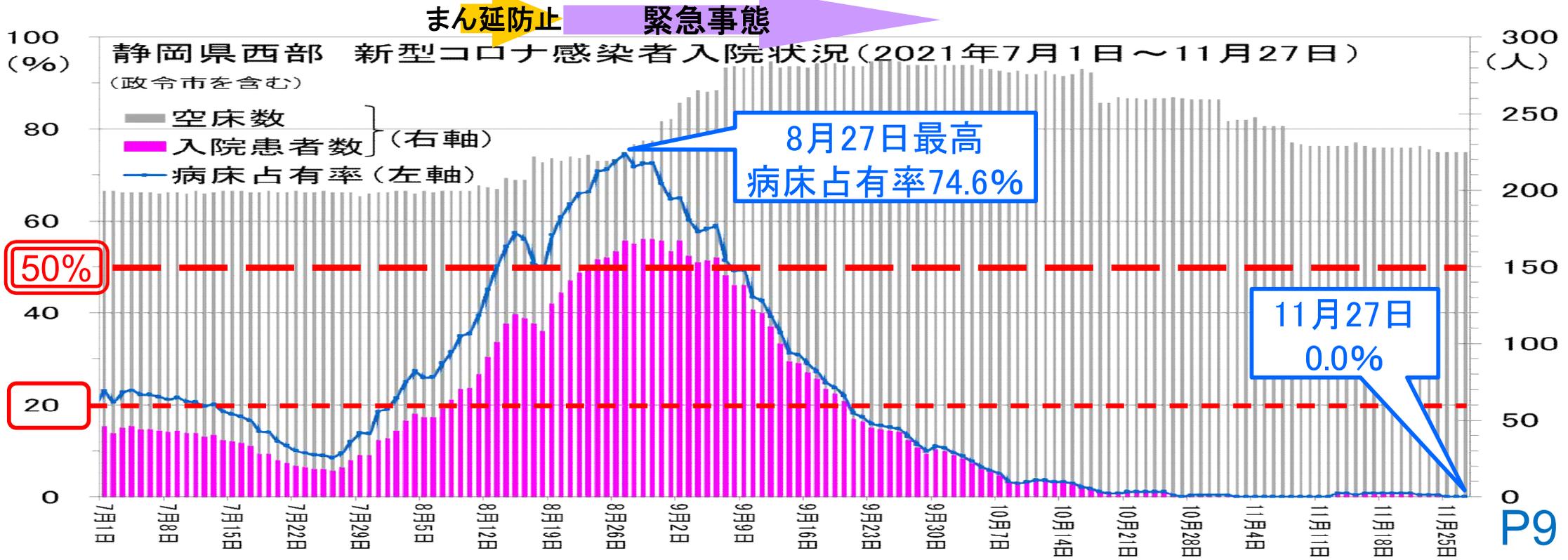
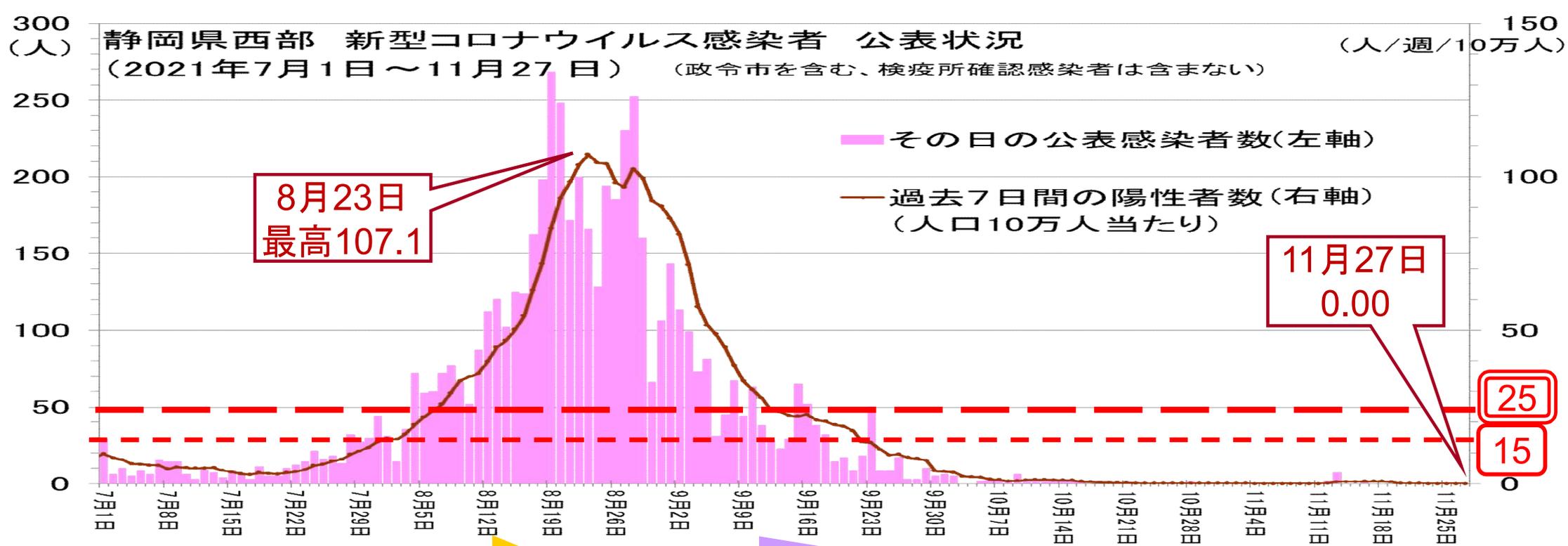
(抗原検査を含む、自費検査は含まない)

- PCR等検査件数(左軸)
- PCR等検査陽性率過去7日間の平均(右軸)

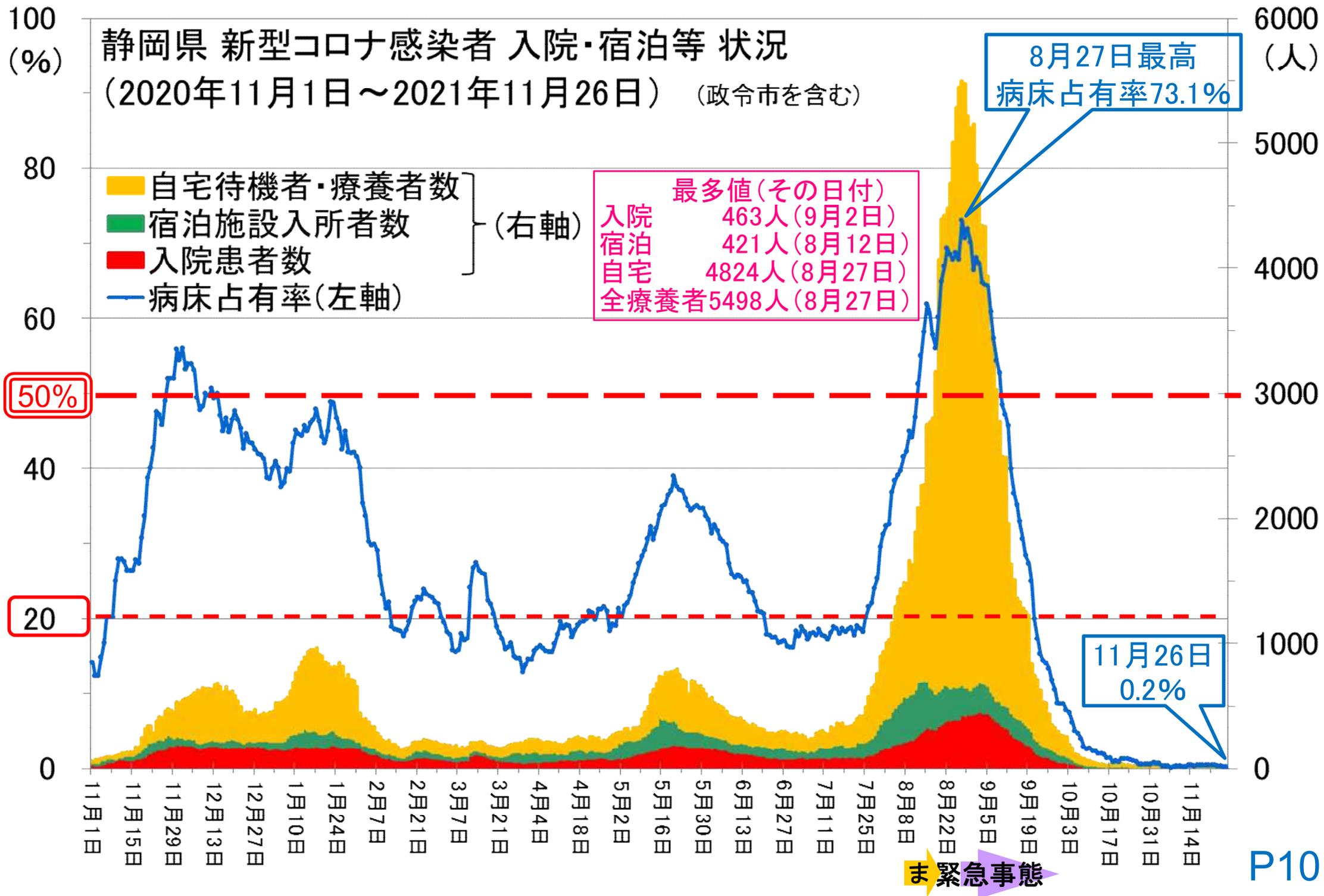








# 静岡県 新型コロナウイルス感染者 入院・宿泊等 状況 (2020年11月1日～2021年11月26日) (政令市を含む)



# 静岡県 新型コロナウイルス感染者 入院・死亡状況

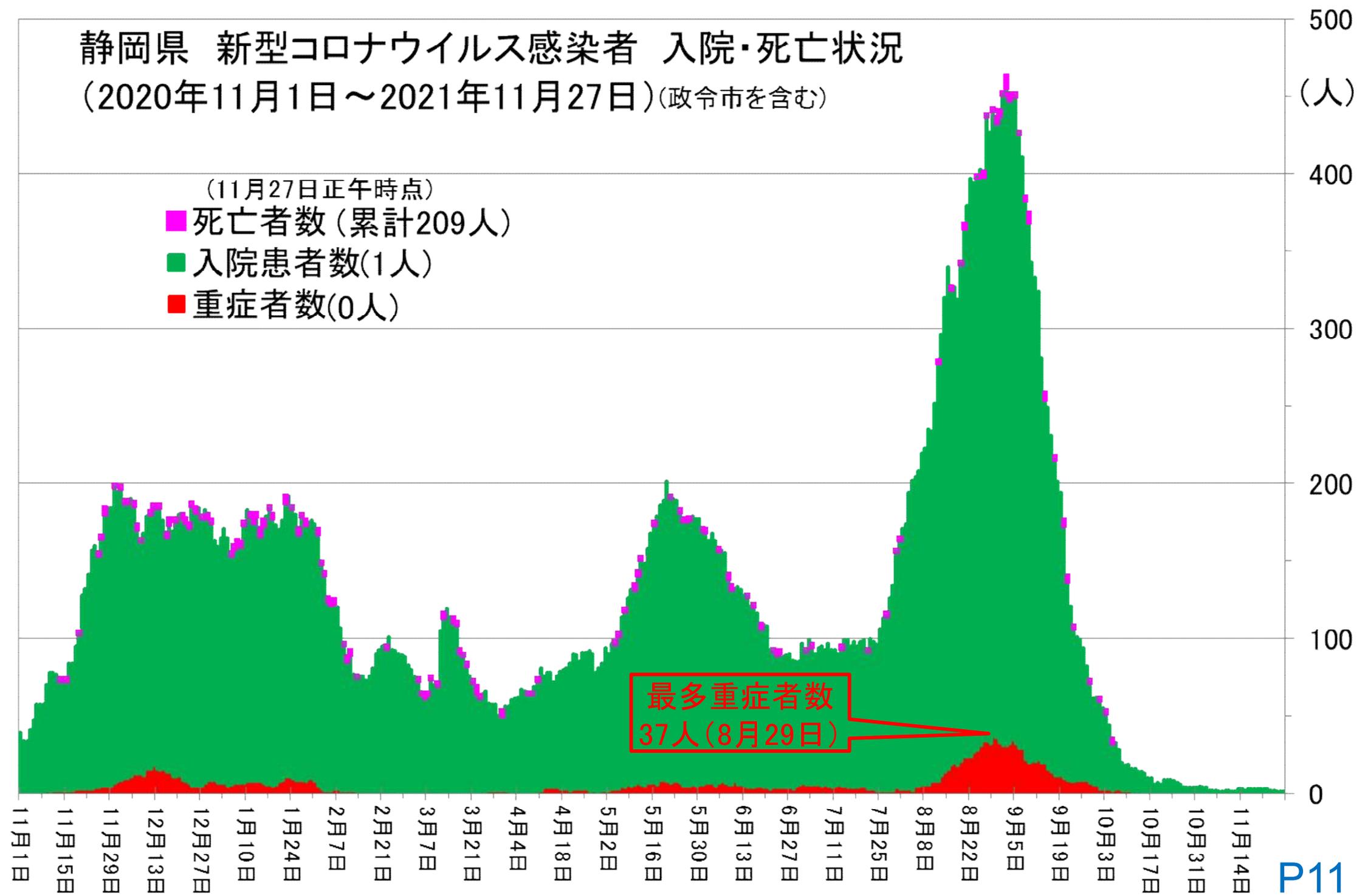
(2020年11月1日～2021年11月27日)(政令市を含む)

(11月27日正午時点)

■ 死亡者数(累計209人)

■ 入院患者数(1人)

■ 重症者数(0人)

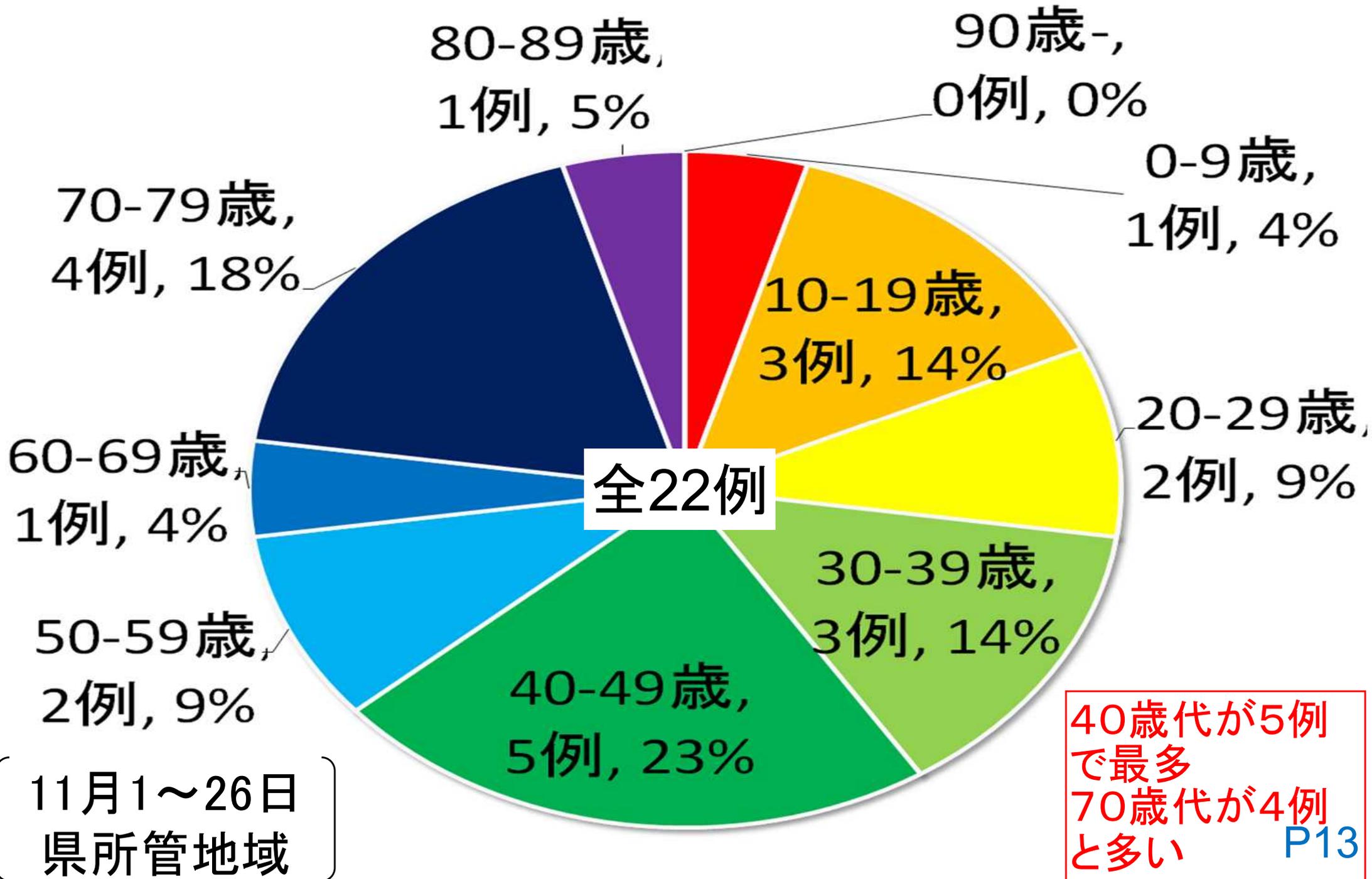


# 静岡県 重症度別入院患者概要と入院日数(2021年8月)

重症度	人数	女性 人数	男性 人数	女:男	年齢 (平均、範囲)	入院日数 (平均、範囲)
重症	73 (6.7%)	22	51	1:2.3	54.5 (23~105)	16.7 (2~52)
中等症 II	570 (52.7%)	208	362	1:1.7	54.0 (1~95)	11.4 (1~39)
中等症 I	440 (40.6%)	175	265	1:1.5	48.9 (0~101)	7.3 (1~36)
全体	1083 (100%)	405	678	1:1.7	52.0 (0~105)	10.1 (1~52)

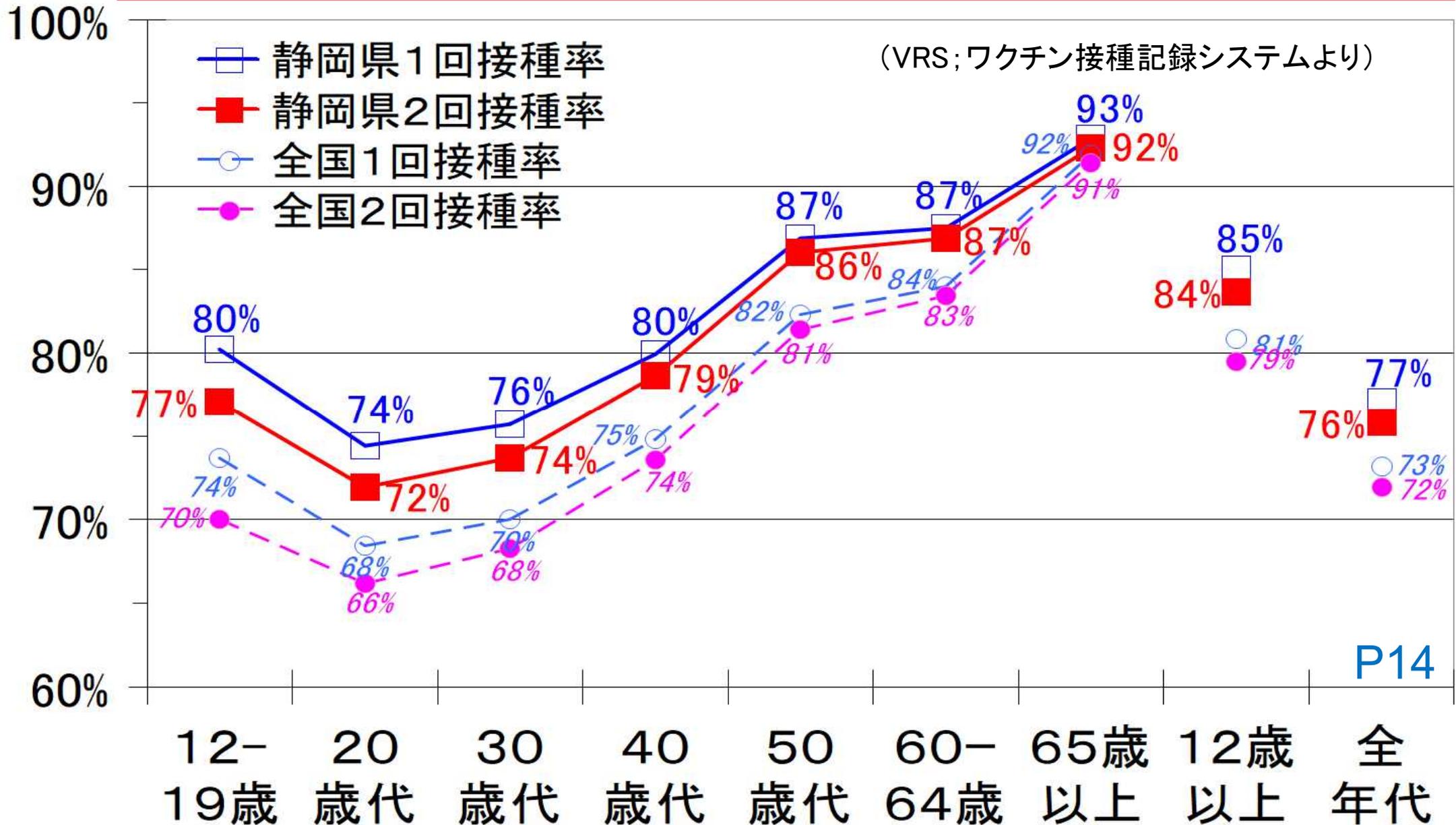
(2021年10月 静岡県病院協会調べ)

# 静岡県の年齢別感染者数・割合



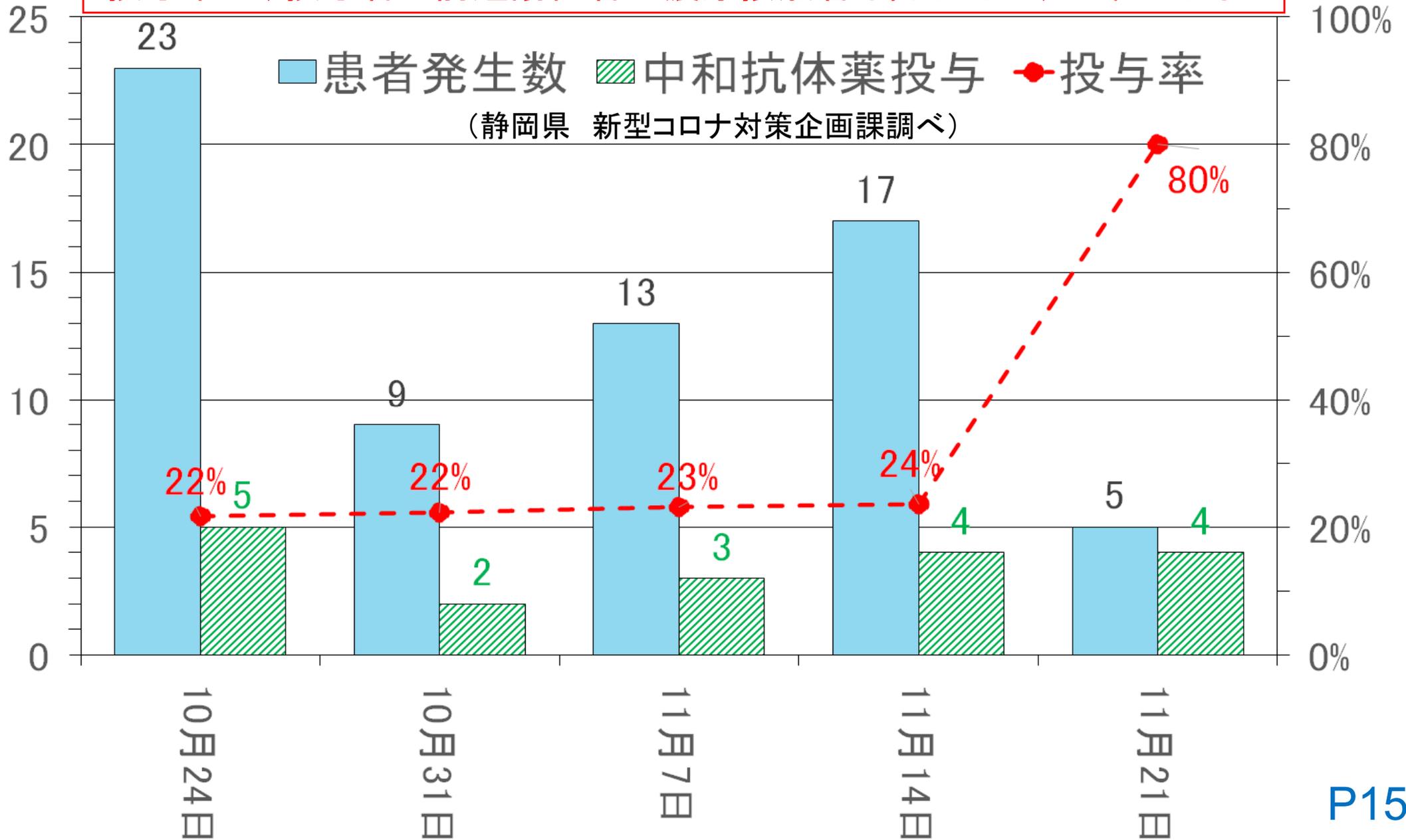
# 県と国 コロナワクチン年代別接種率（11/28時点）

- ・1回接種率は全国より各年代で6～1ポイント、全年代で4ポイント上回る。
- ・2回接種率も全国より各年代で7～1ポイント、全年代で4ポイント上回る。  
2回接種率は、12歳以上県民で84%、各年代で72～92%となった。



# 静岡県 中和抗体投与の状況（11/21時点）

- ・横軸の日付まで1週間の集計値を示す
- ・投与率は、投与者に前週陽性者や濃厚接触者も含むため、正確ではない



## 《変異の状況》

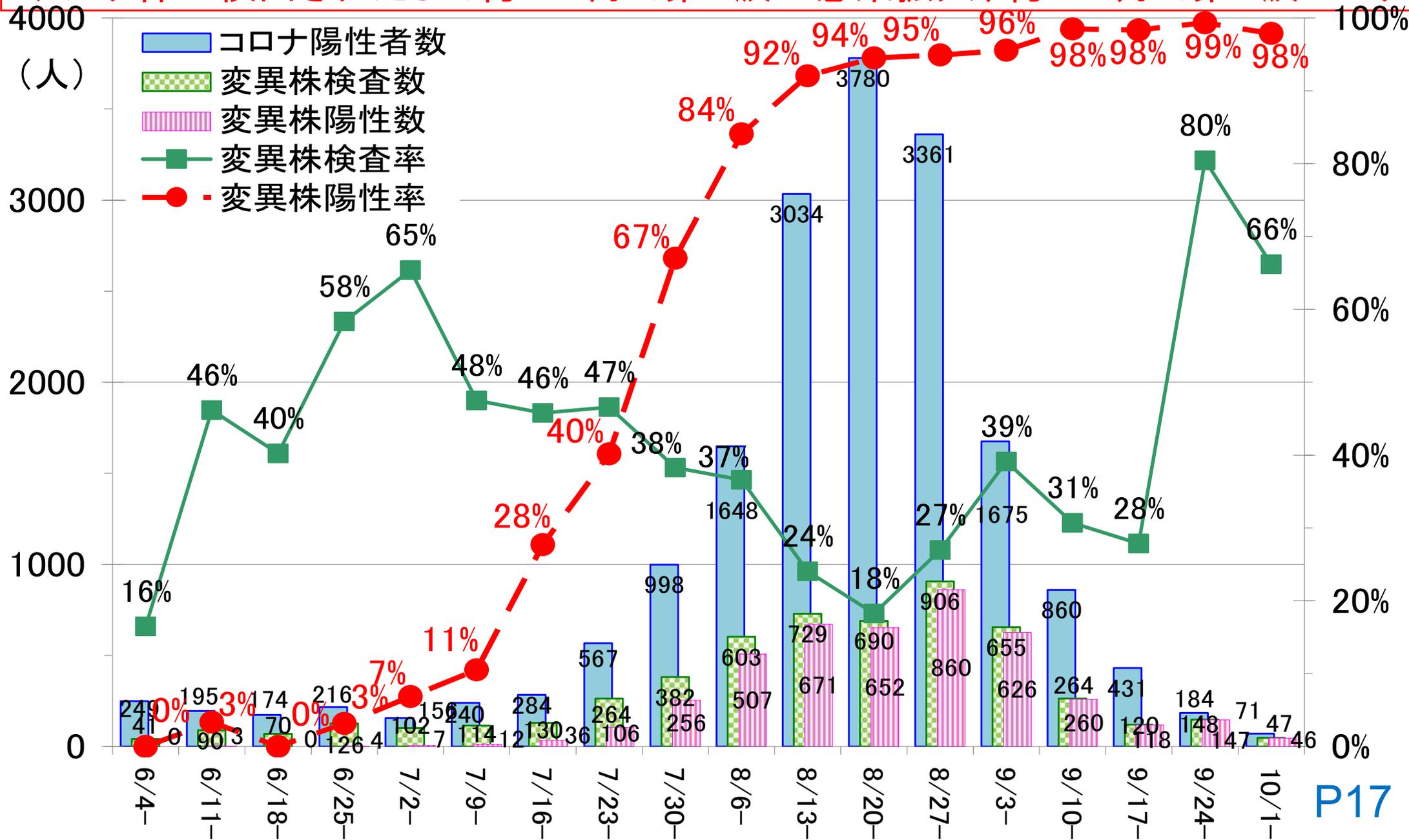
- ・スパイクタンパク質に30箇所のアミノ酸変異、3箇所の欠損、1箇所の挿入あり、このうち15箇所は受容体結合部位に存在
- ・スパイクタンパク質の変異のうち3箇所は、細胞への侵入しやすさに関連する可能性
- ・nsp6における欠失は、 $\alpha \cdot \beta \cdot \gamma \cdot \lambda$ 株にも存在し、免疫逃避及び感染・伝播性の増加に関連する可能性
- ・ヌクレオカプシドタンパク質における2箇所の変異は、 $\alpha \cdot \gamma \cdot \lambda$ 株にも存在し、感染・伝播性の増加に関連する可能性

## 《欧州CDCのThreat Assessment Brief》 (丸番号は事務局で付記)

- ・南アフリカにおいてデルタ株からオミクロン株に急速に置換されていることから、①著しい感染・伝播性の高さが懸念
- ・オミクロン株の有する変異は、これまでに検出された株の中で最も多様性があり、①感染・伝播性の増加、②既存のワクチン効果の著しい低下、及び③再感染リスクの増加が強く懸念

# 【参考】静岡県 新型コロナ デルタ株の置き換わり(6/4~10/7)

- ・デルタ株は、6月前半に検出されだして約2か月でアルファ株とほぼ置き換わった
- ・デルタ株が検出されだして約1か月で第5波の感染拡大、約2か月で第5波ピーク



# 協議事項

1. 国分科会の新たなレベル分類のレベル2移行の指標・目安値設定
2. 県の感染流行期の見直し

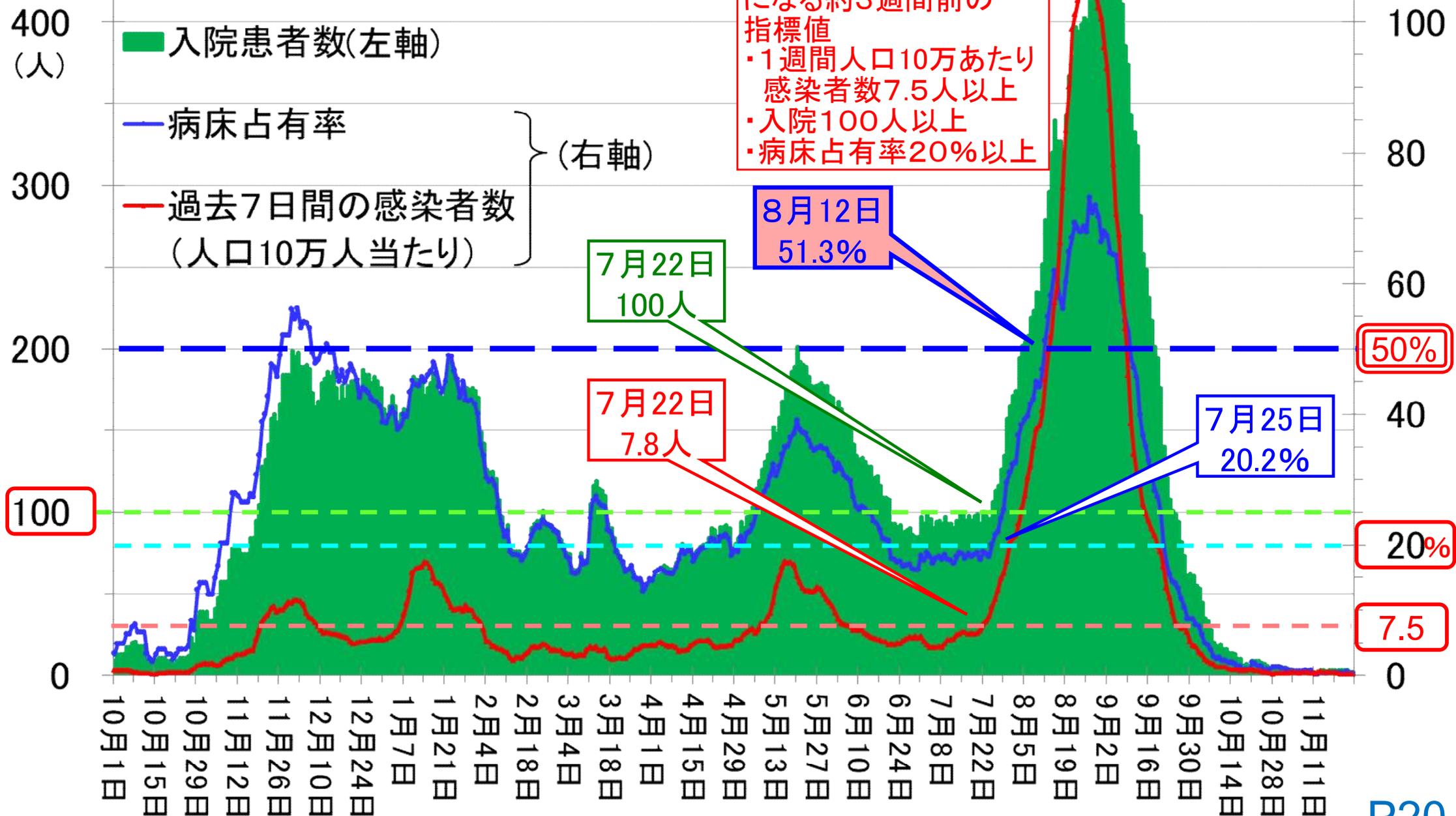
# 国対策分科会の新たなレベル分類の考え方

レベル	状況の定義	移行の目安	対策	国旧ステージ
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限してもコロナへ対応できない状況	県の最大確保病床数を超えた患者数の入院が必要な場合	県及び医療現場の判断でさらなる一般医療の制限、保健所の積極的疫学調査の重点化	なし
レベル3 対策を強化すべきレベル	一般医療を相当制限しなければコロナへ対応ができず、医療必要者への適切な対応ができなくなると判断する状況	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、又は病床使用率50%超の場合	県民等への強い呼びかけ、まん延防止等重点措置や緊急事態措置等、各地域にふさわしい効果的対策	ステージ3の最終局面～4
レベル2 ※警戒を強化すべきレベル	新規陽性者数の増加傾向があり、医療の負荷が始まるが、適切な対応可能な状況	病床使用率や新規感染者数等、県が具体的な数値を設定	高感染リスク行動回避呼びかけ、感染拡大防止に必要な対策実施、保健所の体制強化、必要病床の段階的確保、レベル3での対策の準備	ステージ2～3の最終局面以外
レベル1 維持すべきレベル	安定的に一般医療が確保されコロナに対応できている状況	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>接種率向上、追加接種</li> <li>医療体制強化</li> <li>総合的感染対策継続</li> </ul>	ステージ1
レベル0 感染者0レベル	新規陽性者数0を維持できている状況	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>接種率向上、追加接種</li> <li>医療体制強化</li> <li>総合的感染対策継続</li> </ul>	なし

※：医療提供体制脆弱県はレベル2への移行を早期に検討

# 静岡県 新型コロナウイルス感染者発生・入院等状況 (政令市を含む)

(2020年10月1日～2021年11月24日)



# 新たなレベル分類レベル2に移行する指標値(案)

レベル3・国基準 ① または ② の場合に都道府県が総合的に判断  
その際には感染状況その他様々な指標も併せて評価

① 予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合

② 病床利用率50%超の場合

新規陽性者数、今週先週比

PCR陽性率

病床利用率、重症病床利用率、入院率、重症者数、中等症者数

自宅療養者数及び療養等調整中の人数の合計値

感染経路不明割合、等

レベル2・県が具体的な指標数値を設定 (案) ① かつ ②～⑤のいずれか

① 今週/先週比が2週続けて増加

② 予測ツールで3週間後の必要病床数が現在の即応病床数の  
50%に達する場合

③ 病床占有率20%以上

④ 入院患者数100人以上

⑤ 1週間の新規感染者数人口10万人当たり7.5人以上

# 医療需要予測ツール

年齢ごとの状況		10歳未満	10歳台	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台以上	
1日あたりの検査陽性者数		133	235	728	472	381	259	76	77	← 0以上の数字を入力。1週間の平均をとった小数
ワクチン2回接種率 (%)		0	50	60	60	70	70	85	90	← 0~100までの数字を入力。不明であれば、概
(ワクチンなしで) 酸素投与を要する率 (%)		1	1	1.5	5	10	15	25	30	← 0~100までの数字 (小数も可) を入力。不明
	↑ 初期値	1.0	1.0	1.5	5.0	10.0	15.0	25.0	30.0	
(ワクチンなしの) 重症化率 (%)		0.1	0.1	0.1	0.6	1.5	4	8	11	← 0~100までの数字 (小数も可) を入力。不明
	↑ 初期値	0.1	0.1	0.1	0.6	1.5	4.0	8.0	11.0	
中等症の入院期間 (日数)		9	9	9	9	9	10	11	14	← 0以上の数字を入力。不明の場合、初期値から
	↑ 初期値	9	9	9	9	9	10	11	14	
重症者の入院期間 (重症病床を占有していないときも含む日数)		14	14	14	14	14	15	17	20	← 0以上の数字を入力。不明の場合、初期値から
	↑ 初期値	14	14	14	14	14	15	17	20	

検査陽性者数の今週/先週比 **1.18** ← 0以上の数字 (小数) を入力。

現在の酸素投与を要する人の数 (重症者を含む) **700** ← 0以上の数字を入力。  
 現在の重症者数 **150** ← 0以上の数字を入力。  
 現在の全療養者数 **16000** ← 0以上の数字を入力。

ワクチンの効果 (%)  
 感染予防 **70** ← 0~100までの数字を入力。  
 入院・重症化予防 **90** ← 0~100までの数字を入力。  
 ↑ 初期値

治療薬の効果  
 血中酸素濃度低下の前に治療薬の投与を受けられる割合 (%) **0** ← 0~100までの数字を入力。  
 酸素需要を避けられる効果 (%) **70** ← 0~100までの数字を入力。  
 ↑ 初期値

現在の感染状況を「近い未来の医療負荷」として投影した予測結果

5つの予測値(1週ごと4週後まで)

- ①酸素投与を要する人の数
- ②重症者数
- ③全療養者数
- ④確保病床数(①の2.5倍)
- ⑤確保病床数(①の4倍)

## 6つの入力項目(黄色のセル)

- ①1日当たりの年代別検査陽性者数
- ②年代別ワクチン2回接種率
- ③検査陽性者数の今週/先週比
- ④現在の酸素投与を要する人の数 (重症者を含む)
- ⑤現在の重症者数
- ⑥現在の全療養者数

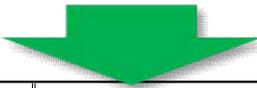
## シミュレーション結果

	酸素投与を要する人 (重症者を含む)	重症者 (= 必要と思われる重症病床の確保数)	全療養者
1週間後	954	147	23488
2週間後	1298	179	28684
3週間後	1584	224	33933
4週間後	1888	273	40055
自宅療養や療養施設を積極的に利用した場合、必要と思われる確保病床数 (酸素需要者の2.5倍)			
1週間後	2384		
2週間後	3245		
3週間後	3960		
4週間後	4719		
ハイリスク軽症者や、ハイリスクでなくとも中等症   は基本的に入院させる場合、必要と思われる確保病床数 (酸素需			
1週間後	3814		
2週間後	5192		
3週間後	6336		
4週間後	7551		

# 県の感染流行期の見直し(案)

県の指標		県の感染流行期の指標と目安値				
		1週間の新規感染者数 (人口10万人あたり)	1週間の感染経路不明者数	感染経路不明の感染者率	PCR等検査陽性率	クラスター発生状況
県旧感染流行期	国旧ステージ					
感染まん延期 後期	ステージⅣ	910人以上 (25人以上)	—	50%以上	10%以上	—
感染まん延期 中期	ステージⅢ	546人以上 (15人以上)	—		5%以上	—
感染まん延期 前期	ステージⅡ	70人以上 (1.9人以上)	35人以上	50%以上	4%台	クラスターの規模や状況等により個別に評価
感染移行期 後期		35人以上 (0.94人以上)	14人以上	40%以上	3%台	
感染移行期 前期	14人以上 (0.38人以上)	4人以上	30%以上	2%台		
感染限定期	ステージⅠ	14人未満 (0.38人未満)	4人未満	30%未満	2%未満	
感染休止期	—	4週連続0人	0人	—	4週連続0%	

後出の国ステージやその指標と整合するため「期」が7つと多くなり、目安値も小刻みで非実用的



4期に減らし、国のレベル1を分けて早期に警鐘

「感染拡大期」には、会食の人数・時間の縮小等を県民に呼掛ける

県の指標		県の感染流行期評価指標(案)				
		1週間の新規感染者数 (人口10万人あたり)	1週間の感染経路不明者数	感染経路不明の感染者率	PCR等検査陽性率	クラスター発生状況
県新感染流行期(案)	国新レベル					
感染まん延期	レベル3 対策を強化すべきレベル	280人以上 (7.7人以上) <b>(案)</b>				
	レベル2 警戒を強化すべきレベル					
感染拡大期/縮小期 ↑感染拡大期 ↓感染縮小期	レベル1 維持すべきレベル	280人未満 (7.7人未満)				
感染限定期		105人未満 (2.9人未満)				
感染休止期	レベル0 感染者0レベル	4週連続0人				

集計は続行し参考にする

感染流行期が上がる際は2週連続増加  
下がる際は2週連続減少